

平成27年3月11日
国土交通省木曾川上流河川事務所
羽 島 市

『桜堤サブセンター』開園式の開催について

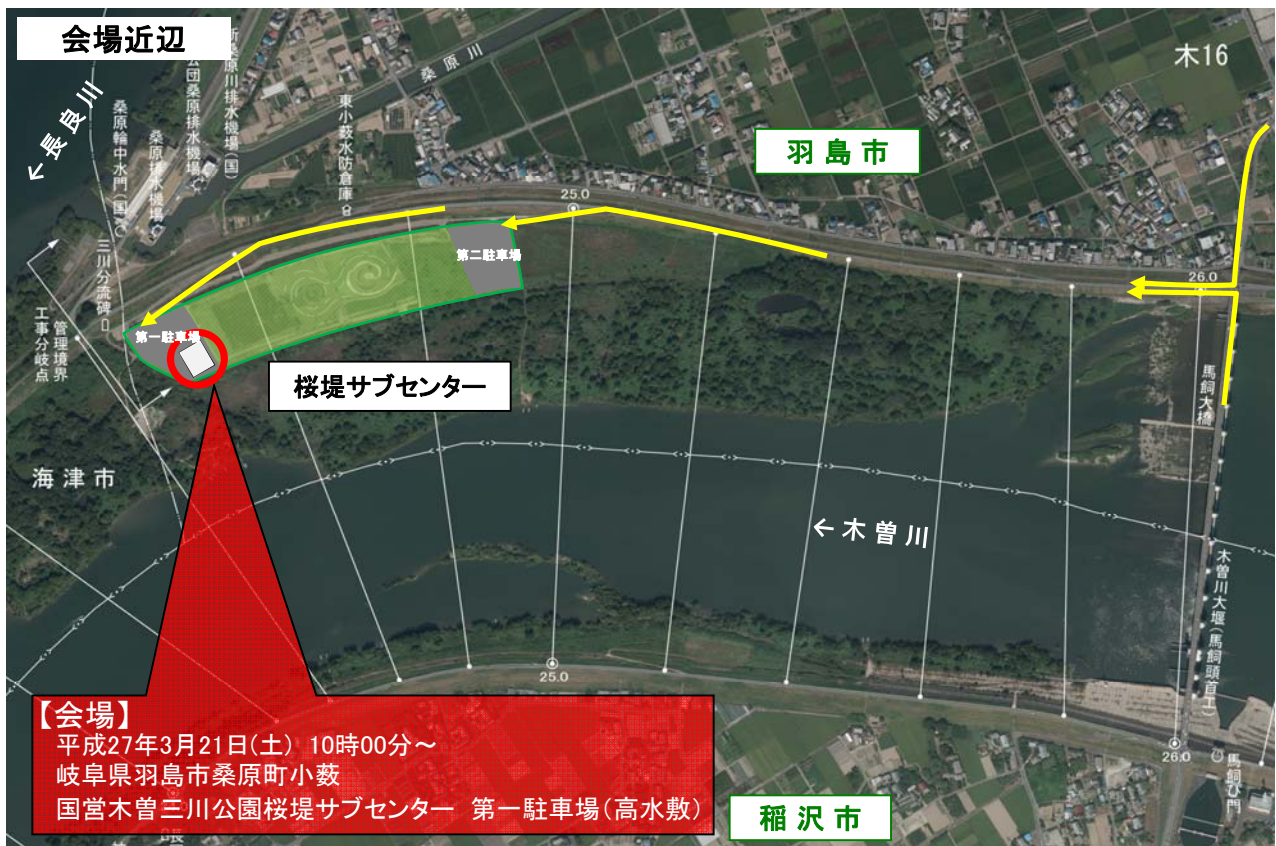
概 要

国営木曾三川公園の新たな拠点「桜堤サブセンター」が岐阜県羽島市 木曾川右岸高水敷に開園します。開園にあたり、国土交通省木曾川上流河川事務所、羽島市は桜堤サブセンター園内において、開園式を開催しますのでお知らせします。

1. 開催日時 平成27年3月21日(土) 10時00分～11時00分(予定)
2. 開催場所 岐阜県羽島市桑原町小藪 (桜堤サブセンター 高水敷エリア)
別紙①のとおり
3. 解 禁 指定なし
4. 資 料 別紙②、③のとおり
5. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、三重県第二県政記者クラブ、各務原市政記者クラブ、一宮日刊記者クラブ、大垣市政・経済記者クラブ、桑名市政記者クラブ、津島市政記者クラブ、羽島記者クラブ
6. 取 材 当日、取材の受付は午前9時30分から行いますので、取材される報道機関の方は、「受付」にて手続きをお願いします。
当日の取材は、現地担当者の指示によりお願いします。
7. その他 当日の天候、河川の状況等により、中止となる場合があります。
8. 問合せ先 国土交通省 木曾川上流河川事務所
岐阜市忠節町5-1 TEL058-251-1321
副所長 稲葉、河川公園課長 包原
羽島市
岐阜県羽島市竹鼻町 55 番地 TEL058-392-1111 (内線 2131)
建設部 管理監 浅井、都市計画課長補佐 豊田

会場案内図

別紙①



桜堤サブセンター開園式 概要

<目 的>

国営木曾三川公園は、様々な自然環境、歴史文化を有する木曾三川の広大なオープンスペースを活かし、東海地方の人々のレクリエーション需要の増大と多様化に応えることを主な目的として整備が開始された。

本公園は愛知県、岐阜県、三重県の三県にまたがり、三派川地区・中央水郷地区・河口地区の3地区（総面積約6,100ha、総延長約107km）からなり、全13拠点のうち、11拠点が開園している。

桜堤サブセンターは、ワンドやオギ原、ヤナギ林など木曾長良背割堤に残る豊かな水辺環境の保全と、ケレップ水制や桜並木などの歴史遺産に触れることができる場を目指し、整備を行ってきた。

本拠点の高水敷（堤外地）エリアについて、平成27年3月に概成することとなったため、国営木曾三川公園の12番目の拠点として新規に開園する。

本拠点の新規開園にあたり、整備にご尽力、ご協力いただいた関係各位に感謝の意を表すとともに、国営木曾三川公園事業の推進に一層のご支援、ご協力をいただくことを目的として、開園式を挙げるものである。

<開 催 日>

平成27年3月21日（土）10:00～

<開催場所>

桜堤サブセンター 特設会場

<桜堤サブセンター事業概要>

平成19年度に事業着手

新規開園面積 約7.5ha

<主 催>

（仮称）桜堤サブセンター開園イベント実行委員会（羽島市、中部地方整備局）

<共 催>

木曾三川公園建設促進上流域連絡協議会

<式次第>

オープニング（和太鼓演奏）

- 1) 式辞
- 2) 挨拶
- 3) 来賓祝辞
- 4) 来賓紹介
- 5) 桜堤サブセンター事業説明
- 6) 保育園児による合唱披露
- 7) テープカット

エンディング

※荒天の場合は、次第を一部変更する可能性があります。

<出席予定（順不同・敬称略）>

公園利用者：スポーツ・レクリエーション関係団体、
歴史文化・教育関係団体、
桑原保育園

地元関係者：岐阜県議会議員、羽島市議会議員、各地区自治委員

関係自治体：岐阜県、各務原市、笠松町、岐南町

公園関係者：木曾三川公園管理センター

OPEN!

桜堤

sakurazutsumi subcenter

サブセンター

2015.3.21 (Sat)

国営木曾三川公園の

新たな拠点が誕生!



国営木曾三川公園 桜堤サブセンター

〒501-6324 岐阜県羽島市桑原町小藪

お問い合わせ 138タワーパーク

TEL 0586-51-7105 FAX 0586-51-7107

入園料 無料

開園時間 3月1日～6月30日 9:30～17:00

7月1日～8月31日 9:30～18:00

9月1日～11月30日 9:30～17:00

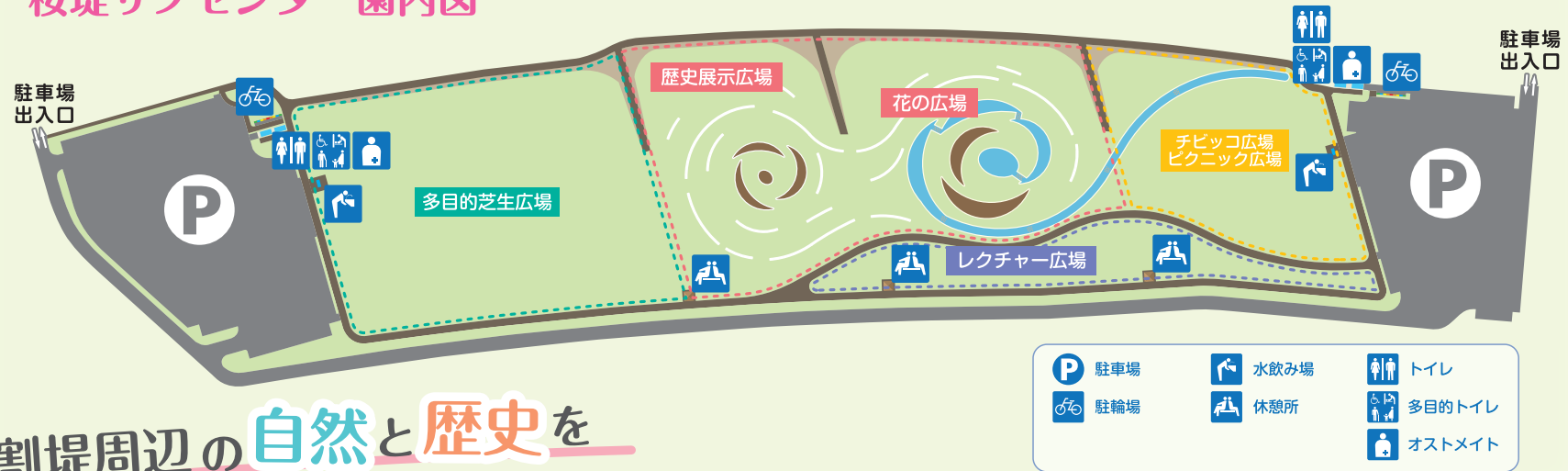
12月1日～2月末日 9:30～16:30

休園日 毎月第2月曜日(休日の場合は直後の平日)

12月31日、1月1日



桜堤サブセンター園内図



背割堤周辺の**自然と歴史**を
 楽しく遊びながら**学習**しよう!

多目的芝生広場

スポーツ、フィールドゲーム、イベントなど、多目的なレクリエーションに利用できるオープンな芝生広場です。

歴史展示広場

ケレップ水制をイメージした石積みを設置し、歴史遺産をより観賞的に理解できる広場です。

花の広場

背割堤の桜とともに、四季折々の色鮮やかな花景観が見られます。また、ケレップ水制周辺の水の流れが花壇やボーダーで表現されています。

レクチャー広場

低水敷を利用した自然観察等の環境学習を行う拠点・エントランスとなる広場です。

チビッコ広場・ピクニック広場

子供が楽しめる、治水構造物を用いたカラフルな遊具を多数配置しています。家族でゆっくりできる木陰やベンチがあります。

